

**東京栄養サミット2021政府主催イベント
「企業戦略としての職場の健康投資～健康経営の可能性～」概要**

2021年11月

商務・サービスグループ

ヘルスケア産業課

「企業戦略としての職場の健康投資～健康経営の可能性～」の概要

概要

- 日本が世界に先駆けて取り組む「**健康経営**」を国際発信するため、日本政府主催の「東京栄養サミット2021」における政府イベントとして、「健康経営」に係る講演・パネルディスカッションを開催。
- 栄養改善も含めた、**職域での健康増進に企業戦略として取り組む「健康経営」の国内外の好事例を経営層から紹介**するとともに、**ESG投資における「健康」の可能性について海外投資家や国際機関などのステークホルダーも交えて議論**することで、健康に取り組む企業の価値向上と健康への投資を加速させることを目指す。

日時

2021年12月7日(火) 15:00-16:30

主催

経済産業省

聴講方法

オンライン配信、事前登録不要

(<https://n4g-tokyo2021.jp/join.php>から「視聴する」をクリック)

登壇者



Daisylyn T. Edades
 Johnson & Johnson
 Head – Global
 Health Services
 Operations, Asia
 Pacific



西井 孝明
 味の素株式会社
 代表執行役社長



Boris Moutier
 AXA
 Japan and Asia
 Chief
 Investment
 Officer



**Ulrik Vestergaard
 Knudsen**
 OECD
 事務次長



Lawrence Haddad
 The Global Alliance for
 Improved Nutrition
 Executive Director

各プログラムの概要【12/7（火） 15:00-16:30】

主催者挨拶（15:00-15:05）

経済産業省 政務

※モデレーター：経済産業省商務・サービス政策統括調整官 田中 一成

Part1：健康投資に関する企業戦略（15:10-15:35）

1. プレゼンテーション

- Johnson & Johnson 執行役（P）
※ディスカッション、パネルディスカッションには、
Head - Global Health Services Operations Asia Pacific, **Daisylyn T. Edades 氏**が参加
- 味の素株式会社 代表執行役社長 **西井孝明 氏**

2. ショートディスカッション

- 経営層が従業員の健康に積極的に取り組むことの意義と経営への効果

Part2：ステークホルダーから見た企業の健康投資（15:35-16:30）

1. プレゼンテーション

- AXA, Japan and Asia Chief Investment Officer, **Boris Moutier 氏**
- OECD 事務次長 **Ulrik Vestergaard Knudsen 氏**

2. パネルディスカッション①（モデレーター：経産省、討論参加者：J&J、味の素、AXA、OECD）

- 職場における健康づくり（特に社員食堂での健康な食事の提供等の栄養に関することについて）の重要性
- 健康経営に関する情報開示の促進とE S G投資における活用の可能性
- 健康経営の更なる普及拡大と国際的な連携・発展

3. プレゼンテーション

- The Global Alliance for Improved Nutrition, Executive Director, **Lawrence Haddad 氏**

4. パネルディスカッション②（モデレーター：経産省、討論参加者：J&J、味の素、AXA、OECD）

- サプライチェーンを通じた途上国の栄養への貢献

【参考】健康経営の推進

【健康経営の施策例】

| 評価項目 | 主な評価内容 |
|------------|--|
| 1. 経営理念 | <ul style="list-style-type: none"> 経営トップのコミットメント 統合報告書やCSR報告書への記載等を通じた社内外への発信 など |
| 2. 組織体制 | <ul style="list-style-type: none"> 社長等が健康づくり責任者になる等、経営層が参加する組織体制の構築 など |
| 3. 制度・施策実行 | <ul style="list-style-type: none"> 計画の策定（例：従業員の健康課題を把握、健康課題解決のために有効な取組を設定、健康経営で実現する目標値と目標年限を明確化） |
| | <ul style="list-style-type: none"> 土台作り（例：ヘルスリテラシー向上のための研修を実施、ワークライフバランスや病気と仕事の両立に必要な就業規則等の社内ルールの整備） |
| | <ul style="list-style-type: none"> 施策の実施（例：食生活の改善、運動機会の増進、感染症予防、メンタルヘルス不調者への対応、受動喫煙対策） |
| 4. 評価・改善 | <ul style="list-style-type: none"> 実施した取組の効果検証 など |

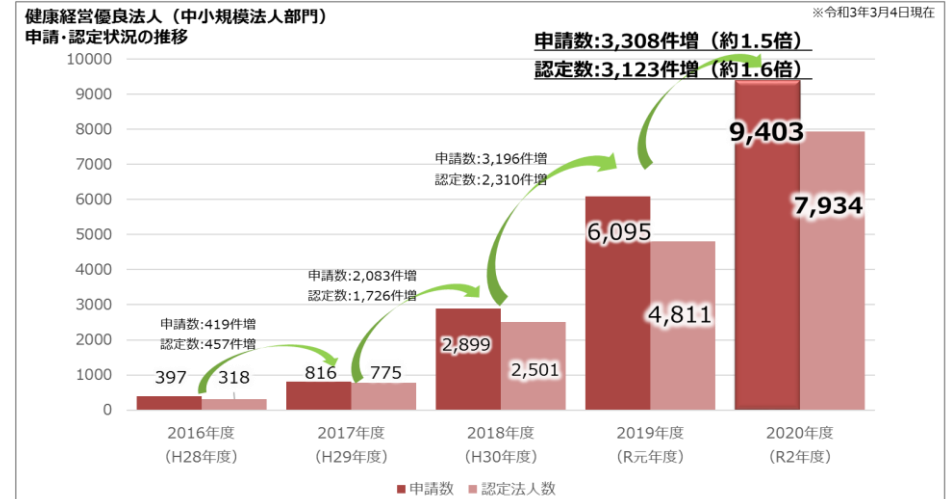
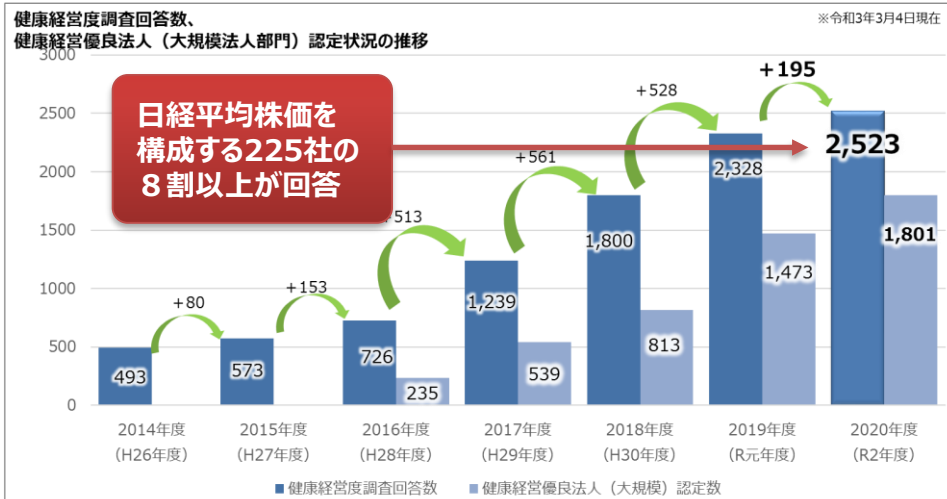
健康的な社食提供



ウェアラブルデバイス支給



検診等に関する費用補助



1 栄養サミットとは

- 世界の栄養改善に向けた国際的な取組を促進する会合。
- オリンピック・パラリンピックのホスト国が開催する慣行で、今次東京会合はロンドン会合(2013年)、リオ会合(2016年)に続き、**3度目の開催**。



2 開催概要

- 日時: **2021年12月7日及び8日**
- 形式: ハイブリッド形式(海外からの対面参加はなし)
- 主催: 日本政府
- 参加者: 各国政府、国際機関、学術機関、市民社会、民間企業他
- プログラム:
 - ✓ **ハイレベルセッション**(各国政府・国際機関等によるスピーチとコミットメント表明)及び**テーマ別セッション(パネルディスカッション)**の2部構成。
 - ✓ **①健康**(ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ)、**②食**(食料システム)、**③強靱性**(脆弱な状況下の栄養対策)、**④説明責任**、**⑤財源確保**の**5つのテーマに焦点**をあてて議論を行う。
 - ✓ ハイレベルセッションで総理、外務大臣、テーマ別セッションで厚労大臣、農水大臣のスピーチ／挨拶を調整中。

3 想定される成果

- 成果文書をまとめ、**国際社会の行動の方向性及び栄養分野の資金的・政策的コミットメント**を示す。
- **我が国の国内外における栄養に関する取組をパッケージとして発信**する。
(国民健康・栄養調査、母子手帳を用いた栄養指導、食育、「食と栄養のアフリカイニシアチブ(IFNA)」、**「栄養改善事業推進プラットフォーム(NJPPP)」**等)